

## 第1号議案：(公財)新世代研究所 2014年度事業活動結果

### 1. ナノサイエンスに関する基礎的研究の推進

(1)第Ⅶ期(2012・2014)5研究会の最終年次の研究会活動を行った。(補足資料1頁参照)

- ①界面ナノ科学研究会：委員長 一杉太郎/東北大学准教授  
開催数3回(4月 愛知県西浦、11月 ATI、1月 伊豆長岡(水和ナノと合同))
- ②バイオ単分子研究会：委員長 佐々木裕次/東京大学大学院 教授  
開催数2回(7月 伊豆高原、12月 軽井沢)
- ③スピントロニクス研究会：委員長 大谷義近/東京大学教授  
開催数2回(12月 ATI、3月 京都(新学術領域ナノスピン変換科学と共催))
- ④ナノカーボン研究会：委員長 齋藤理一郎/東北大学大学院 教授  
開催数3回(7月 蔵王、11月 ATI、2月 福島)
- ⑤水和ナノ構造研究会：委員長 田中伊知朗/茨城大学工学部 教授  
開催数3回(8月 岩手、1月 伊豆長岡(界面ナノと合同)、3月 ATI)

・特別企画として以下を開催した

- ・『5年後の科学技術』懇話会第2回(補足資料2頁参照)  
テーマ「安全・安心・健全・快適な市民社会を支えるための  
社会インフラストラクチャーの将来像」  
話題提供者：野呂 一幸 氏(技術同友会、元大成建設(株)常務役員設計本部長)  
出席者：ATI企画委員他5名 SII 14名 事務局 6名
- ・ATI-SII 交流会

(2)第21回研究報告会(補足資料3頁参照)

7月18日(金) 13:30-18:00 会場：TKP ガーデンシティ御茶ノ水3E室  
2013年度研究会活動報告  
2014年度ATI研究奨励賞授与式および発表  
出席数 約40名

(3)第9回合同研究会(補足資料4頁参照)

11月26日(水) 13:30-17:40 会場：東北大学東京分室  
テーマ『原子層と界面そのものが鍵となる新機能』  
— 物質を薄くしていった極限の科学：現状と展望 —  
講演4件に加えて初の試みとして討論会を実施  
出席数 約40名

(4)ATI国際フォーラム(補足資料5頁参照)

第17回非接触原子間力顕微鏡法国際会議を支援した  
(17th International Conference on Non-Contact Atomic Force Microscopy [NC-AFM 2014])  
8月4日(月)-8日(金) 会場：つくば国際会議場  
支援金額：30万円

## 2. 研究助成 (補足資料7頁参照)

### (1) ATI 研究助成

事業再開後第3回目を実施した。

応募数 83件 採択数 10件 助成金総額 500万円

選考委員会：9月18日

### (2) ATI 研究奨励賞

2014年度より、ATI 研究助成により研究計画が十分に達成され、かつ、優れた研究成果を出したと評価しうる研究を表彰する「ATI 研究奨励賞」を新たに設置。

2014年度は2件の研究に対して授与した。

また、2015年度の選考を実施し、第8回理事会において1件の授与が承認された。

## 3. ATI 公開フォーラム (補足資料8頁参照)

第37回を開催した。

2014年11月27日(木) 会場：明治大学 紫紺館

・『日本列島人の由来』 斎藤 成也 氏 (国立遺伝学研究所 教授)

・『雷鳥が語りかけるもの』 中村 浩志 氏 (信州大学 名誉教授)

出席数：約50名

## 4. 研究活動成果の発信および広報活動

第21回研究報告会を開催し、研究報告書を刊行した。

ATI ニュース第17号(10月)を刊行した。

## 5. 年間の活動概要

月	行事	月	行事
5月	監事会 (8日) 第6回理事会 (12日) 研究会委員長懇談会 (16日) 第2回評議員会 (27日) 第7回臨時理事会 (書面)	11月	合同研究会 (26日) ATI 公開フォーラム (27日)
7月	第3回臨時評議員会 (書面) 研究報告会 (18日)	2月	企画委員会 (12日)
9月	企画委員会(13日) ATI 研究助成選考委員会 (18日)	3月	第8回理事会 (27日)

以上